
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年1月23日号

©2008年12月における中国の小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年12月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

- 1 12月は全国大部分の小麦地区で気温が高く、主産地の一部では早魃が深刻化
2008年10月以降、華北、黄淮（黄河・淮河流域）、西北・東北部などでは早魃が続き、小麦の越冬に不利な条件となった。特に河南省では、10月以降の平均降水量が平年より5割も少なく、気温も高い状態が継続したため、土壌の乾燥が急速に進み、北部、西部及び中部では早魃が深刻となった。このほか、甘肅省、四川省、陝西省などでは小麦黄さび病（小麦条銹病）が発生し、その深刻度及び発生面積は最近同期の水準に比べ高いものとなった。
- 2 国内小麦価格は安定しつつも上昇
2008年12月の小麦の自由市場の全国平均価格は1トン当たり1,710円で、前月比0.4%高・前年同月比7.2%高となった。同月の鄭州市（河南省の省都）食糧卸売市場における普通小麦（一般品質の小麦）価格は同1,765円で、前月比4.0%高・前年同月比10.0%高となった。同じく優良小麦の卸売価格は同1,945円で、前月比4.1%高・前年同月比14.3%高となった。

3 国際小麦価格は引き続き下落

2008年12月の米国メキシコ湾における硬紅冬小麦（蛋白質含有量12%）の平均離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり232ドルで、前月比7.3%安・前年同月比45.4%安となった。硬紅春麦（蛋白率含有量14%）のFOB価格は同325ドルで、前月比2.0%高・前年同月比28.4%安となった。カンザス先物取引所における硬紅冬麦の平均先物価格は同187.39ドルで、前月比9.7%安・前年同月比46.8%安となった。このほか、12月中下旬には、小麦の国際価格が反発し、米国メキシコ湾における硬紅冬小麦の同月第4週（12/22～26）の現物FOB価格は同258ドルで、第1週に比べ18.3%高となった。

4 輸入小麦の通関渡し価格は国内小麦価格を下回る

2008年12月の米国メキシコ湾における硬紅冬小麦のFOB価格を1トン当たり1,588元と換算すると、国内生産地の優良小麦卸売価格に比べ同357元安く、その価格差は前月に比べ201元拡大した。通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）は同2,097元で、同時期の国内優良小麦の南方消費地区における卸売価格に比べ、同98元安かった。

5 小麦の輸出入は大幅に減少

2008年1～11月の小麦産品輸出量は、前年同期比88.9%減の29.6万トンとなった。同じく輸入量は、同89.3%減の1.1万となった。

6 2008/09年度の世界の小麦生産量及び在庫量は大幅に増加

国連食糧農業機関（FAO）の2008年12月の報告によると、2008/09年度の世界の小麦生産量は前年度比11.7%増の6.82億トン、消費量は4.9%増の6.48億トン、貿易量は7.9%増の1.2億トン、期末在庫量は21.8%増の1.83億トンと予測されている。